



淡路クラブ
古山 久則

「いじめ」に対する対策は



問 「いじめ」については問題というよりも永遠の課題だが、いじめ事案に対する対策はどのようなものがあるのか。

答 組織的に対応を図っています

担任や教科指導担当教師の日頃の児童生徒の観察はもちろんですが、生活アンケートやいじ

めアンケート等、組織的かつ定期的なスクリーニング調査があります。児童生徒への面談もあわせて、年数回実施しています。ことばにできないSOSや、目立たない嫌がらせ、ネット上のトラブルなどを早期に発見、把握するための最も基本的な対策です。

いじめ問題を特定の担任一人に抱え込まず、校長、教頭、生活指導担当、スクールカウンセラーなどが連携し組織的に対

応を図っています。

その他の質問

- 「いじめ」の定義とは何か
- 大人が見えない場所での対策は
- 指導者は具体的に何を指導するのか



いじめは決して「軽く」はない



住民目線の会
大久保浩伸

農地集積と整備・担い手確保の方法は



問 農地集積の必要性和、ほ場整備進捗率は。

答 農地集積・集約化は、農業経営の効率化や生産コストの低減に直結すると考えています。さらに、意欲ある新たな担い手が参入しやすい環境整備となり、担い手不足解消や荒廃農地の発生防止にもつながると認識しています。ほ場整備の進捗状況は、

令和8年3月時点で、水田面積753ヘクタールであり、ほ場整備率は約36.3%となっています。

問 担い手確保の手段、生産性向上支援は。

答 意欲ある担い手の発掘・誘致に努めます

担い手の確保は、関係機関と連携し月1回の就農相談会を実施しています。東京や大阪で開催される「就農フェア」へも参加を予定しており、意欲ある担

い手の発掘・誘致を行います。生産性向上については、スマート農業技術導入支援を行います。

その他の質問

- 水稲生産計画
- DXの推進は



生産性が高い、ほ場整備完了農地



輝 岬 光彦

中学校のクラブ活動地域展開の状況は



問 少子化による部活動の維持や教員の長時間労働の解消を目的に行うが準備は出来ているか。

答 今年度は、土日の活動が基本です

当面は土日の活動をします。活動場所は中学校の体育館やグラウンド、音楽室等を優先利用できるように調整しています。

指導者に指導技術や安全管理などに関する研修を実施しています。事故や災害などにおける初期対応などを示した危機管理マニュアルを作り配布したいと考えています。指導者への報酬も公務員や教員の立場を考え、適切に対応します。生徒の移動や送迎で家族の負担にならないようあわ神・あわ姫バスの無料券を配布し負担を軽減します。各認定クラブとの信頼関係を構築し、連携を深め、地域展開の推

進に努めます。

その他の質問

- 市役所の開庁閉庁時間について
- 図書館でサマータイム制導入を



地域の伝統芸能 国生み神楽



無会派
土井 章史

同行避難の基本方針は



問 災害関連死を防ぐため、本市におけるペット同行避難の位置づけとガイドライン策定状況は。

答 必要に応じて修正・見直しを行います

飼い主自身の安全確保を前提とし、飼い主責任による同行避難を基本として位置づけています。避難所では人との居住スパー

スを分けるため、屋外の屋根がある場所などを「ペット専用スペース」として確保することを基本としています。

「淡路市避難所開設運営マニュアル」の中にペットの受け入れや飼育ルールを記載して対応しています。現時点で新たなガイドラインを策定する予定はありませんが、国のガイドラインや他自治体の事例を参考に、必要に応じてマニュアルの修正・見直しを行う方針です。

その他の質問

- 犬・猫の糞尿放置対策の推進は
- 野良猫不妊手術の支援強化
- 公共施設の複合化と減築推進



神戸市のガイドライン



住民目線の会
石岡 義恒

洲本市及び南あわじ市との合併は



問 本市の将来像を見据えた市政運営を進める上で、少子高齢化や人口減少、そして財政状況の課題など様々な変化を的確に対応していくことが求められる。国の推計によれば、淡路島全体の人口が2040年頃には、92,000人程度になると見込まれ、一段と人口が減少することが予想される。現状を踏まえ、将来的な

3市合併について検討する重要なテーマであると考えがどうか。

答 具体的に協議を進める段階ではないです

人口減少や少子高齢化、公共施設やインフラの老朽化、人材確保、行政サービスの持続可能性など3市が共通して抱える課題は多く、将来の行政運営を考える上で、合併を含めた広域的な行政のあり方について考える

ことは、重要であると認識しています。

その他の質問

- 市民参加型予算編成の導入について



3市連携で、取組分野を広げます



結いの会
多田 耕造

健康施策の成果が分かる指標の公開を



問 健康淡路21計画の現状の健康データでは特定検診率の低迷、自殺率の高さ、生活習慣病の重症化等、改善が急務の課題が多い状況である。多くの施策の取組を分かりやすく、成果を実感できる指標を公開してはどうか。

答 成果を「見える化」する方法を検討します

この計画は12年間の長期計画であり、毎年度、事業ごとの実施状況や数値の推移を確認し、必要に応じて事業内容を改善していくことが重要であると考えています。具体的には特定検診受診率、がん検診受診率、メタボ該当者・予備群の割合、自殺死亡率、健康づくりに関する研修会への参加状況など、この計画に掲げる指標を毎年度継続して確認します。市民の皆様にとっ

て分かりやすい形で成果を「見える化」する方法も検討します。

その他の質問

- シビックプライドを市政の基調に



健康淡路21計画（第3次）